日刊
磐城日日

發行所
株式會社 磐城日日新聞社
福島縣小名浜町渚通51
電話 2 1 9 番
振替口座仙台 3 1 3 5 5 番
編集人 高瀬霞
印刷人發行人 長瀬芳郎

六三制の功労者
樋口前町長に榮光
文化の日に表彰さる

文部省では三日の文化の日に六三制功労者一九九名、優良施設校一一四校を表彰したが、この榮えある一人として小名浜町前町長故樋口速氏が現町長水野政次郎氏から縣教育委員會に推薦された蔭には次のような美談がある

故樋口速氏は昭和二十三年四月五日初代公選町長として就任以來地方自治体の刷新を圖るためには教育の振興にまつ外はないという信念の下に教育施設の完備を町行政の中核とした、六、三、三制の実施に際しては縣下に先んじて運營委員會を構成し、新學制の完全實施を計畫し従來の小名高女に十二教室を増築し新制中学の校舎に充當、小名高女及小名實業を合併して新制高校を建設するため舊日立製作所小名浜工場の一部、敷地一万坪並に附屬建物を買收して校舎に充當したが急造建物で不適當なため昭和二十三、四年の兩年度に新築完成、新制中学校舎第二期増築工事中、昭和二十三年十一月十九日のアグネス台風で完成を目前にして倒壞したので責任を痛感して犠牲的寄附金を率先實行し復舊工事を完成し更に就學生徒の増加に伴い昭和二十五年度に第二中學校の新築を計画、新教育の体制を永遠に確立した功労は誠に偉大で町民から教育町長として親しまれていた

町議列傳

たかせ・かすみ

小名浜町会議員
教育委員
小名濱造船会社長

藁谷寅之助氏

熱と誠意と任俠の人

藁谷寅之助氏

藁谷さんの生業は親の代から漁業の母体である造船業であるが、弱冠十一才のとき、實父の嚴格な指導で般大工の徒弟としての第一歩を踏み出して以來四十六年間默々として家業に從事しあらゆる難関を突破し幾度か茨の道を切り開いて今日の地位を築き上げたというから正に立志傳を飾る人物といつてよい

元來造船業は濱の漁、不漁に支配されるので漁業と造船業は水と魚の間柄であるが、昨今の如き不漁續きでは犠性的觀念なくしてはやつて行けない商賣である

去る十七年以降の戰時中は当町にも代表的造船會社が設立された樣に好況時代もあつたが最近数年間は不漁のため船を作つても満足に代價を受取ることは困難だし、といつて造船を中止するわけに行かず船主に對しあらゆる面で犠牲的に奉仕している事實は衆目の一致するところであり任俠をもつて知られる藁谷さんのかくれた美点といつてよい

從來から小名浜町で会社を存續することは容易ではないといわれているのに、造船會社が今尚存續してゐるのは業者の結束は勿論だが指導者たる藁谷社長の人格と努力の賜ものと云つても過言ではあるまい

藁谷さんが町會へ出馬した動機は漁業の母体である造船業者の立場から港灣建設に重点を置き、漁業と造船の表裏一体による町勢発展のため強靱なくさびを打ちたいという念願であつた

藁谷さんは生業の側ら若干の農業を營んでいるが、副業としての農業經營にも素晴らしい腕前を発揮し、不毛の地であつた北君ケ塚の自作地に自ら率先して客土を施して美田と化し、農村人の驚異の的となつているが、これは藁谷さんの先見の明と努力の結晶といわねばなるまい

客土を施すためには三段歩に五万圓を要したそうであるが、その甲斐があつて今日では二毛作も出來る樣になつたということであるから、土地改良の生きた手本と教訓を衆人に與えた藁谷さんは船作りの名人であると共に土地作りの達人として稗益するところが少くないが過般の君ケ塚の道路建設に協力するため所有地の一段二畝を提供したこともまた藁谷さんの美德として大いに讃えたい

藁谷さんは昭和三年以來納税組合長として納税報國に邁進し町役場並に税務署から幾度となく表彰されているが納税義務を知りつつも一般人が容易に実行されない今日誠實の人、藁谷さんの良き指導のもとに徴税が圓満に行われているということを聞くと、今更ながら事業の良否は技術や組織より人德に左右されることが極めて大であると思う

藁谷さんは小湊部落民が多年に亘つて宿望している播摩作を平地にするために急先鋒となつて幾度となく町當局と接渉した結果、漸やく採擇される事になつたが藁谷さんの構想によると、面積二萬五千坪から、現在の耕作地五千五百坪を差引いても二万坪内外が残るので此の整地を有効に利用したら町營の工事費八百万圓を六百萬圓に切りつめても尚余裕があるという見込である

そこで出來れば地域的に觀察して漁業關係者の住宅地に開放したいという念願から一日も早く之れが實現に努力したいと力説された

次に小湊地域に公民館の分館を設置したいが費用は大体三十五万圓を豫想し二十万円を地元で負担し十五万圓は町当局の補助に仰ぎたいが、綜合グラウンドも町の財政面と照合して實現し大小名浜市建設の体容を徐々に完備したいということである

藁谷さんは現在、小名濱造船株式會社々長の外に福島木造船會々長の要職にあり、經濟界不況の折に多難な造船業者百数十名の大世帶を背負つて活動してゐるが幸い男働き盛りの五十七才だから益々町並に地方発展の為に御奮斗願いたい

小名濱軟式野球
日星一Aで優勝

去る三日午後一時半より小名濱中學校々庭に於て開催された町民軟式野球大會決勝並に三位決定戰はブラスバンドを先頭に縣大會優勝のオール小名浜、シルバー、竹町、日星、磐洋の順にてダイヤモンドを一週、華々しい入場式に次いで副會長宮下茂氏の開會の辭、會長石井正氏による始球式の後熱戰の火蓋を切つた戰績次の通り

決勝戰　1A——0

竹町		打	安
2	草野	4	0
5	佐川	4	2
6	松原	4	1
8	柳	4	1
4	川村	4	1
9	柳内	4	0
1	永山	3	2
3	藤社	3	0
7	運賀	3	0

日星		打	安
3	今井	4	1
8	菜花	3	1
5	松家	4	1
7	清水	4	0
1	高久田	4	1
2	角田	3	0
4	田澤	3	1
9	阿部	3	0
6	田中	3	0

優勝日星、二位竹町三位シルバー、四位磐洋

なおこの日、日星高久田投手に最高殊勲賞、竹町草野捕手に敢闘賞同永山投手に敢闘賞及び打撃賞がそれぞれ授與された

小名町民の体育大會

小名浜町社會教育委員会主催による町民体育大會は去る三日文化の日午前九時より第一小学校々庭に於て

開會の辭　副委員長　石井芳江氏
會長挨拶　委員長　草野道平氏
來賓祝辭
町長代理　野崎昇太郎氏
町會代表祝辭　坪内　清氏
審判上の注意
審判員　成田末太郎氏

等があつて大會を開始したが、當日は好天に惠まれ出場者も多く婦人會、青年會による珍競技が續出して觀衆を熱狂させ盛會裡に正午終了した

江名中學を建設
六百十一萬圓で落札

江名町中学校建築指名(競爭)入札を二日午前十時より江名町中ノ作消防詰所二階に於て、町当局と業者十二名立會のもとに開札、町予定額六百拾万圓に對し止札以下の該當者がないために再入札と決り入札前に第一次入札者の丸勝土木會社が失格酒井組は辭退し、結局十名の再入札となり開票の結果江名町萩ノ作一番地土建業、田村淺吉(五〇)氏が六百十一万で落札と決定した

尚入札者は次の通り

鈴木省三、田村淺吉、丸茂建設、植野土建、強口土建、堀江工業、山田組、太成土建、松原組、三崎組、丸勝土木、酒井組

車輛検査

小名濱警察署では來る六、七日午前八時半より定西吉田自轉車店前八間道路に於て道路交通取締法第二三條の規定により車輛検査を實施する

秋季將棋大会

湯本町レクリエーション棋道、將棋部では本五日午前九時より溫泉神社々務所に於て秋季將棋大會を開催する

讀書週間に
標語募集

小名浜町で有名な小泉屋書店では第四回讀書週間（十月二十七日—十一月九日）に際し一般より左記の通り讀書にちなんだ標語を募集している

一、用紙＝はがき又は適当な用紙
一、届先＝小泉書店宛
一、締切＝十一月六日
一、発表＝十一月七日
審査の上即日発表
一、審査員＝小名濱文化協會、小名浜圖書館、磐城日日新聞社
一、賞品＝優秀作品には賞品を進呈
一、注意＝用紙には必ず住所氏名を明記すること

文化祭ダンスパーティー
三日夜　午後七時—十一時半（ハワイアンワンバンド）
四日夜　午後七時—十一時半（タンゴ、ハワイアンツーバンド）
五日晝　午後一時—四時（タンゴ、ハワイアンツーバンド）
三日間共 景品付!!
一等　清酒　一升　一本
二等　清酒　四合　二本
三等　バター、ピーナツ罐詰　三本
四等　ビスケット　空くじなし
尚毎日晝夜教授致して居りますから特に初心者の方は大歡迎致します
ハトバホール

すし
郡下一の腕を
振つてつくる自慢のすし
ビール。うどん
お酒。
小名濱町字橋本一四
みなと
飯塚　勝
電 四三〇番
小宴會、商談、バスの待合せに是非御利用下さい

小名浜港
1コップスタンド
カフェー
憩
KOI
弁天横丁ヲ横ニ入ル

◎女給さん数名至急求む

パンは新高
湯本は溫泉
パンと洋菓子
湯本町驛前
新高パン店
電話二三七番

國鐵にアメリカ式應用
特急列車に無線電話
東京―大阪間に設置

國鉄では列車の危險防止のため、來春から特急とその停車驛にアメリカ式「誘導列車無線電話」を設置する計畫を進めている

この無線電話を取付けると走る列車內から機關士が輸送指令を受け先行、後續列車、駅などと自由に通話が出來る

また列車內の車掌とも相互に話が出來るので轉覆、追突などの事故防止或は犯罪又は乘客の急病に對する緊急措置が出來るという便利なもの

一台の送受話機の設備費用は五十万圓当分の間東京―大阪間の特急停車驛全部に設置すると五百万圓以上かかる由

のど自慢で卒倒
カネ三点が死出の旅

內郷町では去る三日文化の日を卜して正午から同町淺野記念館で七十七才以上の高齢者百九十名を招待、敬老の自慢大會を催したが午後三時頃同町宮町田無職山崎金譽さん（八一才）は得意の謡曲で見事カネ三点を獲得、やんやの喝采を受けたとたん卒倒、直ちに自宅に運ばれたが同三時半ころ脳いっ血で死亡した

山崎さんは平市警察署勤務を最近に退職したもので勤續三十年の表彰を受けた事もあるこの文化の日も高齢者の一人として山崎町長より表彰された

爆彈引揚の監督官交替

爆彈引揚業務監督の爲小名浜に駐在していた眞砂監督官は第二管區本部に皈任、十一月一日より事務官佐古春雄氏が着任した

在外公館借入金の取扱

在外公館借入金確認請求者の住所變更届事項に關し取扱の一部改正の件に就き外務當局より縣に達旨があつたので該当者は至急役場へ手續するよう要望している

記

一、借入金確認請求者が他の都道府縣に轉居した場合

1、本人は確認請求書の、控えのない者は役場で發行した受領書を新住所の所轄市町村に提示の上、ひな形の如き住所變更届二通を役場に提出すること

2、本人が舊住所、所轄の役場より確認證書を受領するよう特に希望し、又は既に届濟の場合はこの限りでない

盗難の届出

双葉郡久之浜町北町五三、藤田熊吉氏所有第三不動明神丸はルビー台風避難の爲小名濱港に繋留中ブリッチにて乾燥中の四分マニラロープ（時價五千円相當）を去る一日午後六時より二日午前七時の間に盗難にあつた旨町署に届出た

日本水素株式會社々員遠藤卓造（四〇）さんは去月二十八日頃自宅のタンスから紋付羽織外三十点（時價四万圓）を盗まれたと一日小名浜警察署に届出た

去る二十六日午前一時頃、小名浜港に碇泊中の第十一三國丸（靜岡縣志太郡東益津村浜当目河合喜八氏所有船）は無線室から、現金四萬六千圓、ゴム製長靴二足（時價千二百圓）布製カバン一ケ（時價五百圓）石油製品割當證明書、一枚（靜水漁第三、二三六號―重油五、一〇〇立、モビール一五三立記載）が盗まれたと一日小名浜署に届出た

石炭需用の予想
三千九百萬噸突破

日本石炭協會では本年度産業別石炭需要第二次豫想調査を行い事務當局案を検討中であつたが

このほど、予想高を三千九百七十七万五千四百屯に決めた

これは事務當局案より約四十六万百屯減であり、その理由として電力、石油石炭製品製造鐵鋼部門の修正が擧げられている

今回の豫想高は去る六月の第一次豫想高より約百三十四万七千屯増であり

今回の豫想高を業種別に見ると次の通りである

（單位屯）

電力	―三四、八六〇
石油石炭製品製造	一九、八八三
鉄鋼	―五五、〇五二
非産業用	三五、五六一
産業用	一七一、三九三
産業別不明	一〇、八〇〇

教育委選擧に要望

湯本町選擧管理委員會では來る十一月十日行われる教育委員選擧に付き左の如く一般に要望している

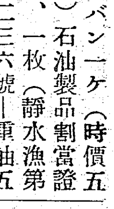
教育選擧投票場入場券は昨年九月十五日調整の名薄を基本としているから其の後住所異動等により未だ入場券が届いていない者は、本年六月の參議院選挙の時に投票した場所に入場券がなくとも十一月十日には投票場に於て投票が出來るから棄權せぬこと

準急停車の運動猛烈

湯本町では青森發、上野駅行、平發三時九分の準急が湯本駅に停車する樣町內毎に署名捺印の廻覧板をまわして猛烈なる請願運動を展閉している、湯本町は戸数六千、人口二万八千人を有し、常磐炭礦を控え溫泉町として經濟的にも文化的にも五市に次ぐ町としてます〳〵発展しつゝあり、然も一ケ月十六万余人、一日平均五千五百余人の乘降客があり今後觀光事業に多大の影響もあるので改正前のように停車するようにしたいという意向が強くなつている

電線を盗む

湯本町署では去る八月三十一日夜、湯本第一變電所より鹿島變電所間の七ミリ送電線‥六〇〇米（時價約七、〇〇〇圓相当）をペンチで接断した、湯本町三函、土工、廣里廣（二〇）を去る三十一日逮捕、本人の自供にもとづいて、共犯平市北目町、土工遠藤嘉一（二一）を検擧した



【小名浜青果市場】　4日

人參	八〇―九〇圓
午蒡	一二〇圓
キャベツ	五〇圓
大根	二―二三圓
丸大根	五―二五圓
葱	四〇―五五圓
白菜	二八―四〇圓
甘諸	二〇―三三圓
里芋	五〇圓
卵一ケ	一三圓
澤庵	四五圓
柿（一箱）	四六五圓
梨（一箱）	四〇〇圓

【小名濱魚市場】

秋刀魚	一一〇―二〇〇圓
平目（小）	四五〇―六二〇圓
鰕	四五〇―六八〇圓
ま章魚	一四〇圓
水章魚	六〇―七五圓

（秋刀魚大漁の爲大下落、小もの人氣あるも同樣下値）

天氣豫報

【今日】朝の中北寄りの風曇り勝ちで處により時雨模樣日中は北西の風に變り次第に快復し晴間が出る

【海上】不連續線通過により風波が多少出てくるから小型船は注意を要す

湯本支局通信
湯本・文化祭賑う
意義ある一日を送る

運動會

（既報）十一月三日の文化祭行事である湯本町リクレーション主催による町內對抗運動會は湯本小學校々庭に於て午前十時より開催、各町內から繰り出した假裝應援團は特に目立つてにぎやかであつたが表町の巨大なる象、や上町の女子と子供が同一衣裝に赤たすきをして花笠を背負い拍子木と日の丸扇子を兩手にした應援振りは人氣をよんだが各町內共タイコをたゝいてお祭り騒ぎを演じ觀衆二万余を超るという盛會振りであつた

展覽會

湯本美術研究會主催學童圖畫コンクール大會はこの程、湯本小、常磐小、長倉小、湯本中常磐中、湯本高の各校から百十三名が參加去る三日湯本小學校で展覧會及び表彰式を行つた

特選

湯本小、小沼井久、八矢洋子
長倉小、坂本信義、鈴木泰一
常磐小、小川惠美子、橋本秀實
湯本小、谷山郷子、松崎綱爾、比佐久仁子
常磐中、小笠原了、折笠竹信
湯本中、渡邊貞美
常磐中、椎本德重
湯本高、富岡八重子

佳作

会田信一、川向末男
工藤朝弘、正本國雄
川越陽子、北郷英美子、斎藤ミサ子、和島雄一、高島美津雄
服部幸子、幡野律子
野水幸子、山口照惠
小泉陽子、本田佳年
鈴木義光、上面健一郎、鶴田京二、鵜沼京子、矢部恭子、渡邊艶子、志賀哲夫、出來須磨子、佐藤京子、御代經也、沼井妙子

花電車

十一月三日常磐炭礦では花電車と稱し野球祭に大型バスを花で飾りスピーカーを取りつけ宣傳のため町內を一巡して町民をアットいわせた

記念祝典

また労働組合本部では創立五周年記念祝賀式典を組合本部屋上にておごそかに擧行、自主的組合として育成に努力し日本建設の爲に新たなる誓いを以つて進むことゝなつた

体育まつり雑感

季節はずれの〃ルビー孃〃の來訪に荒された秋空も一日朝から雲一つなく晴れ上つてまさに台風一過の小春日和、一點の雲もない十一月三日、文化の日午前八時を期して開かれた、湯本町レクリエーションは、同町小學校グラウンドで行われ一万數千の應援觀衆をもつてうずめられ、プログラムの順をへるごとに假裝應援團の声、老いも若きも、男女も腹からの大聲、笑い聲をあげ、全町にこだましました、各町內十八チームが粋を競つた趣向で應援の波が高く場內アナウンサーの聲が大きく孤を描いてこだまする、敬老席には、天王崎の加古トイ（八九）さん始め柴山セキ（八六）齋藤ハツ（八六）若松寅次郎（八五）さん達の元氣な應援には各選手共大張切りであつた

人氣を呼んだ男女同權の奥さん方の綱引では各町內名物の假裝全部でぶつつかる應援ぶり特に趣向をこらした上町少年少女の奴さんの一團は壓倒的に人目を引き、大人も負け氣味であつた、辱ノ口、傾城の花嫁さん等も亦は大好評であつた、成績は品川、上町、笠井、迎の順にて優勝旗は品川町內に送られた

小泉屋の文化まつり
11月2日～11月9日迄
第四回讀書週間を迎へて
良書の普及と
新しい文房具
事務用品の特賣
お買上金百円以上
賞品呈上
讀書週間標語募集
小泉屋書店
小名浜町本町 電話122

江戸前壽し
割烹
一平
仕出し
小名浜町下町
電話 451番

お座敷女中及下働き數名求む
―年令十八才より二十五才迄の方―

四日―六日　磐城座
パラマウント映畫久々の上映
監督　ジョン・フアロウ
出演（アラン・ラッド　ゲイル・ラッセル）
密輸空路
戰爭の渦中にある中國の首都重慶と、印度の國際都市カルカッタを結ぶ國際航空路……そのルートを利用し悪らつな宝石商密輸に一飛行士がその密輸にまきこまれ非業の最期を遂げ、親友の仇を討つため謎の殺人事件の捜査に乘り出した同僚ニールは、幾たびか死の恐怖にさらされながらカルカッタの隅々まで犯人を求めて活躍白いタバーンの印度人、宝石屋のマダム不敵な中國人、美しいアメリカ女等……何れも怪しい影を引いて、誰が眞犯人か
東洋的な神秘に包まれたエキゾティックな印度の都市カルカッタを無台に、息詰まるスリルと恐怖、身のとけるような熱つぽい戀に彩られた異色の探偵活劇